

平群

Heguri

≡ 議会だより 9月定例会

No.243

平成25年11月1日

発行:奈良県平群町議会

第4回定例会(9月)

議決結果・質疑あれこれ	2~4
決算審査特別委員長報告	5~7
議会の動き／議員提出議案	8
議員視察研修	9
町政を問う! 一般質問	10~15
町の話／お知らせ	16



秋の空を駆ける（西小学校運動会）

第4回定例会 こんなことが決まりました

第4回定例会が9月10日～20日まで11日間の会期で開かれました。

初日は、町長提出案件18件が上程され、その内8件が即決。残りの10件は、昨年度の一般・特別会計決算の認定案件で、6名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し付託して審議（9月12日）しました。

一般質問は18、19日に行われ、11名の議員が質問しました。

最終日は、決算審査特別委員会に付託した平成24年度一般会計と各特別会計決算認定議案の委員長報告が行われ、一般会計と介護保険特別会計は賛成多数で、その他の特別会計は全会一致で認定しました。

議員提出の「若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書」と「道州制導入に反対する意見書」は、ともに賛成多数で採択しました。



議決結果賛否一覧 ○賛成 ●反対 △退席 ※除斥（議長は、可否同数の時議案の可否を決定します）

提出区分	議 案 名	議決結果	井戸太郎	戎井政弘	奥田幸男	森田勝	植田いずみ	山口昌亮	高幣幸生	窪和子	山田仁樹	繁田智子	馬本隆夫	下中一郎
町長提案	平群町一時預かり事業の実施に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決にかりません
	平成25年度平群町一般会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成25年度平群町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成25年度平群町水道事業会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成25年度平群町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成25年度平群町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成25年度平群町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者の推せんにつき意見を求めることについて	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成24年度平群町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	
	平成24年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成24年度平群町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成24年度平群町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成24年度平群町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成24年度平群町学校給食費特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成24年度平群町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	
	平成24年度平群町奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成24年度平群町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成24年度平群町用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提案	若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書（案）	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	
	道州制導入に反対する意見書（案）	原案可決	○	●	○	○	○	○	●	●	○	●	○	

一時預かり事業の実施に関する条例の一部を改正する条例

一時預かり事業利用料の減免基準を定めた文言について、読み違いのないよう字句を修正するものです。

平成25年度平群町一般会計補正予算(第2号)

補正総額は2億7974万6000円。歳出の主なものは、職員給与の減額措置と人事異動に伴う人件費の調整(全体では6000万円以上の減額)、へぐり時代まつりとふれあいマラ

質疑あれこれ

9月議会に上程された
議案及び質疑を紹介します。



質問 総合型スポーツクラブ自立支援補助金が減額になったのはなぜか。また、平群のクラブの現状はどうなっているのか。

答弁 町40万円、toto助成360万円の予定をしていたが、toto助成は全体の申請が多くて144万2000円減額になったことによるもの。クラブ運営は大変になるが、教育委員会としても援助していきたい。

質問 震災復興予算の流用の返還について、平群町にはないのか。

答弁 緊急雇用対策関連が対象になるが、今のところ返還はない。

質問 総務管理費の維持補修工事715万4000円について説明を。

答弁 駅周事業に関連して役場庁舎の車庫の移設に伴う工事費。財源は駅周の組合からの移転補償費2253万6000円をあてている。

質問 当初予算に計上しなかった、時代まつりとふれあいマラソンを今回なぜ復活されたのか。

答弁 町民全体のまつりにしていきたい。活性化のためにやっていきたいと計上した。

質問 保育園のパート賃金1000万円の増額について詳しい説明を。

答弁 0歳児の保育士の増員と給食調理員の病欠による補充のためのもの。

質問 町有バス運行管理業務委託料が当初の8万4000円にプラスして50万円の増額。どのような契約で、大幅な増額の理由はなにか。

答弁 契約は時間単位。利用回数の増加に伴うもの。

質問 老人福祉施設措置事業の扶助費135万円の増額について、その積算根拠の説明を。

答弁 今年6月に一人が三室園に入所することに伴うもの。措置費は1人1カ月15万円となっている。

質問 県からの活力あふれる市町村応援補助金347万円について、榛原トンネル照明のLED化にあてられるとのことだが、当初予算で採択されなかったのはなぜか。

答弁 申請はしていたが、6月に内諾、8月22日に決定されたため。

質問 教育総務費の謝礼55万円。平群小学校の校歌の作詞料と聞いたが…。

答弁 小学校再編成協議会で協議して、校歌作成にあたって、作詞が5万円、作曲が50万円として提案させてもらった。

次ページへつづく



平成25年度国民健康保険 特別会計補正予算（第1号）

昨年度の実質収支1億811万3000円のうち当初予算計上の1万円の繰越金として歳入に計上し、確定した介護納付金増額分の半分、186万2000円と前年度の一般、退職の療養給付費確定に伴う還付金1億3153万3000円を歳入に計上。その歳入超過分3778万8000円を基金に積み立てるものです。

主な質疑

質問 昨年度単年度1億4000万円もの黒字が不思議だったが、償還金が1億3000万円以上。とくに、退職者の療養給付費交付金が前年度1億2000万円

程度なのに、昨年度は3億円にもなり、この交付金の償還金は1億2000万円。どうしてそのようになったのか。

答弁 毎月1カ月ごとの数字を報告すべきところを、24年5月から25年の3月まで累計の数字を報告していたことで交付金が大きくなった。初歩的なミスで申し訳ないとおもっている。

平成25年度水道事業会計 補正予算（第1号）

人事異動、職員給与カットに伴う人件費の調整を行うものです。

平成25年度下水道事業 特別会計補正予算 （第1号）

人事異動、職員給与カットに伴う人件費などの調整で、215万円の減額補正です。

平成25年度農業集落排水 事業特別会計補正予算 （第1号）

人事異動、職員給与カットに伴う一般会計からの繰入金を25万円減額補正するものです。



平成25年度介護保険特別 会計補正予算（第1号）

保険勘定は、前年度黒字分153万7000円を繰越金として措置し、前年度の介護給付費確定に伴う償還金1153万7000円を計上するもの。また、人事異動、職員給与カットに伴い一般会計からの繰入金を減額補正するものです。補正額は677万6000円の増額になります。

主な質疑

質問 繰越金と償還金がまったく一緒の金額。これはたまたまなのか。決算を調整してこうしたのか。

答弁 24年度事業が確定して償還金の金額が出た。恣意的に金額を合わせたわけではない。

へぐり歳時記

町民体育大会が今年も10月13日に開催されました。今年は50回目の記念すべき大会でした。

平群町の町民体育大会は、東京オリンピックが開催された年の1964年10月16日に始まりました。当時、体育指導委員だった、岡田弘（東小教諭）、中村清規（郡山高校平群分校教諭）、丸岡竜信（中学校教諭）、村上喜久男の4氏が「村全体としてのイベントを」と呼びかけたのがきっかけでした。

当初は、「健全なスポーツの振興と親睦を深める」ことを目的に、新生活実践村民体育大会と銘打って、統一秋祭り後の午後に、中学校のグラウンド（当時は現在の東小にありました）で開催されていました。競技出場者は1回目が600人、2回目が500人でした。

オリンピック翌年に体育の日が祝日制定されてから

半世紀の町民体育大会



は体育の日に開催されるようになり、健民グラウンドが完成した69年からは、同グラウンドで終日の開催となり、その後、スポーツセンターに会場を移しました。

現在まで50年間、大会運営にかかわり、現在は体育協会会長でもある村上さんは「平群町にとっては他にない最大のイベントであり、住民の交流の場。出来る限り続けたい」と話しています。

平成24年度一般会計・特別会計 決算審査特別委員長報告

平成24年度一般会計と各特別会計の決算の主な審議内容と結果をご報告いたします。

一般会計

《議会費・総務費》

一般管理費の事業・業務委託料の委託内容についての質問に、公共施設の活用や今後の計画策定の情報収集、公共施設のありべき姿を体系的に整理検討するため、町民の意向アンケート調査を含めたものとの答弁がありました。

財産管理費の土地借上料についての質問に、借上料の算定基準は土地評価額の2%であり、16年度当時の土地評価額で算定している。24年度現在では当時より評価額が下落しているが、公共施設の性格上、借上料は据え置いているとの答弁がありました。

財産管理費の集会所等施設整備補助金の内容についての質問

には、各自治会の集会所の改修に対して6件分、事業費の2分の1の補助を行ったと答弁がありました。

防災諸費で、備蓄品の購入状況とプリズムへぐりへの分散備蓄について質問がありました。

24年度で乾パン384缶、アルファ米1000食、保存用飲料水504本、防災用備蓄用毛布、飲料水袋、子供用のオムツ、大人用のオムツを購入。備蓄品の分散備蓄と企業等と防災協定を結び流通備蓄を進めていくよう考えている。プリズムへぐりへの分散備蓄は、今後検討していくとの答弁でした。

《民生費》

社会福祉協議会の補助金についての質問に、社会福祉協議会は、市町村行政が財源を担っていくことになっており、ここ数年、平群町の財政状況が厳しいこともあり、社会福祉協議会の基金を取り崩し補てんしていく

ことで進めてきた。しかし、その基金も枯渇する寸前にきており、24年度については町の補助金を約500万円引き上げて2000万円と決定したとの答弁がありました。

学童保育指導員賃金の不用額についての質問には、保育時間の延長にともない指導員を増員したが、月額給から時間給という雇用形態の変更とともに、退職者が増え、指導員の補充が間に合わず、その分の支払いが生じなかったことなどが原因であるとのことでした。

《衛生費・労働費》

予防費の検査検診委託料で本人負担についての質問に、予防接種は、一類疾病が全額補助で、二類疾病の高齢者インフルエンザは1000円を徴収して

いるとの答弁がありました。

塵芥処理費の不用額の内容について質問がありました。焼却ごみ量が23年度6535トから24年度5657ト、差引870ト減少したことによるもの。また、不燃物処理委託料は、缶ビン類を2社による競争見積もりで単価が下がったこと、粗大不燃ごみは計画数量より約10ト減少したこと、処理単価の引き下げによることなどの答弁がありました。

し尿処理単価の引き下げについての質問には、引き続き努力していきたいとの答弁がありました。

ごみステーション設置状況と段ボール収集の対策についての質問には、ごみ集積所の整備状況は、町の補助で、ステーション整備が23年度86カ所、24年度36カ所、ネットの配布は23年度377カ所、24年度65カ所となっている。段ボール出しの周知については、チラシ等の配布やお知らせ紙で対応しているとの答弁がありました。

《農林水産業費・商工費》

農林業総務費の復旧工事1980万円を執行しなかった理由

について質問がありました。土砂条例違反で町が告発した現場の状況が比較的落ち着いた状態になっており、代執行の経費の回収も難しい。また、代執行の要件である「不履行を放置することが著しく公益に反する」のかどうか判断し、代執行を踏みとどまっている。是正を求める現場であるので、緊急の場合には、緊急代執行で対応していくとの答弁がありました。

新規就農者確保事業補助金の決算額が予算額に比べ大幅に減少した理由についての質問には、24年度実施に当たり、国からの補助要件が確定し、それにより、給付申請を断念した対象者もいたことが要因であるとの答弁がありました。

観光費の地域活性化方策検討業務の内容についての質問がありました。観光PR事業ということで進めている。観光ホームページは、現在、町内のあらゆる魅力を取材収集しており、26年4月からの運用を考えている。平群ブランドについては、平群ブランドマークを決定しており、運用基準について委員会を立ち上げて検討をおこなっていくとの答弁がありました。

〈次ページへつづく〉

《土木費・消防費》

道路新設改良費の測量設計委託料減額の質問には、西向の圃場整備が25年度へ繰り越した分と、委託せずに職員で対応したことによるものとの答弁がありました。

調査委託料の事業内容と執行額についての質問には、一つは橋梁長寿命化修繕計画策定業務で、28橋の長寿命化修繕計画である。コンクリート構造物、鉄筋構造物は、耐用年数が到達する今後50年間で、どれだけ健全に維持管理していくかという考え方で、奈良県一括で発注をしていた。26年度から着手する事業で、一番老朽化している2橋について予算措置をする予定である。もう一つは、都市計画施設整備推進事業の委託業務で、都市計画道路の見直しを含めた内容の業務を発注したとの答弁がありました。

都市計画総務費の既存木造住宅耐震事業補助金が執行されていないことについては、耐震診断は6件あったが、耐震改修工事をされなかったため補助金の支出がゼロであったとの答弁がありました。

消防費では、消防施設費、工

事請負費の設置工事について質問がありました。23年度繰越明許費で春日丘の防火水槽設置工事、24年度で下垣内の防火水槽設置工事を執行したとの答弁がありました。

《教育費》

学校施設の耐震化についての質問には、耐震化率は24年度末で90・4%、26年4月以降は95%になる。東小学校の体育館は25年、26年の大規模改造工事が終了後、耐震工事をおこなう予定との答弁がありました。

用地購入費の内容についての質問がありました。東小学校の学校用地を拡張するのに北東側の土地を確保するため23年度に



補正で予算計上したが、駅周事業の進捗状況との関係で23年度購入できたのは1123㎡で、予算執行できなかった分を24年度に繰り越し、385㎡の土地を確保した。残りの約600㎡を25年度に補正予算を計上して確保していきたいとの答弁がありました。

保健体育総務費、需用費、修繕料の内容と今後の計画についての質問には、中央公園テニスコートの照明の安定器、ウォーターパーク気流ポンプの水漏れ修理、総合テニスコート人工芝の補修、総合スポーツセンターの浄化槽エアポンプ交換、ソーラー時計、屋外照明設備制御装置、ウォーターパーク内の監視カメラの修理を行った。今後、老朽化が目立つテニスコートの芝、ウォーターパークの防滑シートは、リニューアルを考えているとの答弁がありました。

《歳入》

個人住民税の減収についての質問には、人口減少、高齢化率が高く、年金受給者の増加、低所得者の段階の増加が原因と分析している。また、25年度個人



住民税の調定予算は10億1576万4000円であるが、現時点での調定額は9億9120万5000円で、昨年度より落ち込んでいるとの答弁がありました。

入湯税の減少についての質問では、地域振興センターとかんぽの宿がタイアップし、スポーツセンター利用者の合宿の宿泊地としてかんぽの宿を利用する取り組みをおこなっている。町も、協力をしているとの答弁がありました。

町営住宅使用料の収納計画の取り組みについて質問がありました。収納率は、23年度90・4%、24年度95・06%、改良住宅は23年度91・67%、24年度98・02%で、徴収強化に取り組んでいる。また、滞納者すべての方と分納誓約書を結び、入居者の生活実態について調査を行っているとの答弁がありました。

反対討論

決算は、実質単年度収支が約1億5050万円の黒字となっており、旧中央保育園用地の売却で1億8500万円の財産売却収入を得たこと。また、23年度に入るべき駅周辺整備事業債7130万円が24年度に充当されたことによるもので、これらがなければ、24年度の単年度収支は1億円以上の赤字になる。入札や適正な積算をすれば経費減になる可能性があり、財政の立て直しには改善が必要である。

賛成討論

実質収支は1億7850万2509円の黒字を計上している結果を見て、本町の財政健全化に向け、行政当局は努力されていると判断した。財政の各種判断比率を見ても、早期健全化の基準も25%以下の14・4%である。ただ、減少傾向の歳入に向けて遊休地の有効活用を訴えたい。

賛成多数により認定すべきものと決定いたしました。

国民健康保険 特別会計

24年度も黒字であることから、26年度に国民健康保険税の引き下げの検討について質問がありました。黒字財政となっているが、25年度までに3年間減税を行ってきた。25年度決算状況を見たうえで、社会情勢を考慮し、総合的に判断をするとの答弁がありました。

全員異議なく認定することに決定いたしました。

下水道事業 特別会計

加入件数について質問があり、24年度で338件の加入、年度末加入件数が1740件となっている。全人口1万9786人に対する普及人口は5110人で、普及率は25・8%、普及人口のうち水洗化人口は4448人で、水洗化率は87%との答弁がありました。

全員異議なく認定することに決定いたしました。

農業集落排水 事業特別会計

24年度末の加入件数と加入率について質問があり、90件に対して44件の加入で接続率48・8%、24年度は1件の加入であるとの答弁がありました。

全員異議なく認定することに決定いたしました。

介護保険 特別会計

反対討論

第5期（24～26年度）は、1号被保険者の保険料が基準額で年間9400円あがった。これは、これまで積み立ててきた基金を5期終了時点で5000万円残すとして、基金の取り崩しを6000万円にしたことによるもの。

しかし、初年度24年度決算で、基金と黒字で1億6500万円となり、試算と異なり大幅な剰余金が出ている。25、26年の2年間で1億1500万円の赤字を出しても計画どおりとなる。介護保険料は3年に1度の見直しなので、来年度引き下げとはならないが、第6期の改定

において教訓にすべきである。

賛成討論

実質収支は1153万6380円の黒字が計上されており、介護保険財政に向け努力されていると判断する。

賛成多数により認定すべきものと決定いたしました。

住宅新築資金等 貸付事業特別会計

学校給食費 特別会計

奨学資金貸付 事業特別会計

後期高齢者 医療特別会計

用地先行取得 事業特別会計

以上5件の特別会計については、全員異議なく認定することに決定いたしました。

決算審査特別委員会

委員長 井戸 太郎

平成24年度 一般会計・特別会計決算

（△はマイナス 単位：円）

会 計 区 分		歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越す財源	実質収支額
一 般 会 計		8,863,289,847	8,615,072,388	248,217,459	69,714,950	178,502,509
特 別 会 計	住宅新築資金等貸付事業	38,167,227	62,111,902	△ 23,944,675	—	△ 23,944,675
	国民健康保険	2,730,989,572	2,549,806,714	181,182,858	—	181,182,858
	下水道事業	872,068,416	849,566,391	22,502,025	5,316,000	17,186,025
	農業集落排水事業	38,815,643	38,815,643	0	—	0
	学校給食費	74,161,075	73,856,562	304,513	—	304,513
	介護保険（保険事業勘定）	1,368,247,198	1,356,710,818	11,536,380	—	11,536,380
	（介護サービス事業勘定）	9,108,788	9,087,663	21,125	—	21,125
	奨学資金貸付事業	363,000	363,000	0	—	0
	後期高齢者医療	268,377,707	267,708,407	669,300	—	669,300
	用地先行取得事業	141,079,299	141,079,299	0	—	0

承認



岳室 安彦 氏

住所 平群町三里

人権擁護委員候補者の推せんにつき
意見を求めることについて

岳室安彦氏は、適任であるとの意見で答申することに決しました。

議員提出議案

若い世代が安心して就労できる
環境等の整備を求める意見書

提出者
賛成者

窪 和子
高幣 幸生
(原案可決)

道州制導入に反対する意見書

提出者
賛成者

森田 昌亮
山口 昌亮
(原案可決)

議会の動き

公共交通対策特別委員会

- * コミュニティバスのルート・ダイヤ改正(案)について
(6月24日/9月20日)



文教厚生委員会

- * 清掃センター埋設灰にかかる環境対策について(6月24日)
- * 幼保一体施設開設に伴う進捗状況について(8月20日/9月6日)
- * 清掃センター埋設灰にかかる環境対策について(8月29日)
- * 執行後における政策評価について(8月29日)



議会改革特別委員会

- * 議会改革について(8月5日)

議会運営委員会

- * 平成25年平群町議会第4回定例会の議会運営について(8月28日)

総務建設委員会

- * 都市計画道路の見直し(案)について(8月29日)
- * 執行後における政策評価について(8月29日)

議員視察研修



若者定住促進対策

滋賀県高島市を視察

平群町議会は8月6日、全議員参加で日帰りの行政視察を行いました（町バスを利用）。行き先は、若者定住促進施策を実施している滋賀県高島市。全議員と副町長、担当職員が参加しました。

高島市は、琵琶湖の北西に位置しており、人口は5万2392人です。平成17年に、マキノ町、今津町など5町1村が合併した広大な土地と琵琶湖の一部を含んだ市です。ここでは、山村集落での高齢化、後継者不足が大きな問題になっており、5年ほど前から若者定住化促進に積極的に取り組んでいます。

政策としては、若者定住促進条例を制定し、40歳未満までの方に、住宅確保、子育て支援、就労支援などを行っています。（下の表参照）

井戸 記

高島市の若者定住促進施策

施策名	概要	補助率	限度額
おいでよ高島・若者マイホーム支援事業	市内に移住される40歳未満の方が住宅を新築または購入する場合に係る経費に対する補助	定額	新築200万円 中古100万円
定住住宅取得補助 （新築住宅取得補助）	市内に定住される40歳未満の方が住宅を新築、購入する新築住宅に課税された固定資産税に対する補助	1/2	25万円 ※5万円/年 地域通貨で支払い
定住住宅リフォーム補助	高島市以外の方が高島市に移住される方や、市内の実家に戻り定住される方が行うリフォーム工事	1/4～1/8	25万円～50万円 ※5年分割 地域通貨で支払い
空き家リフォーム補助	空き家を貸し出そうとする空き家所有者（不動産賃貸業や住宅販売業者等を除く）が行うリフォーム工事	1/4～1/8	25万円～50万円 ※5年分割 地域通貨で支払い
若者定住促進プロジェクト	①定住相談窓口 定住相談員を設置し、定住希望者の要望に沿ったきめ細やかな相談対応。 ②空き家紹介システム 集落内の利用可能な空き家を掘り起し、定住希望者を紹介することで定住につなげる。 ③地域の教科書づくり 地域の生活ルールなどをまとめたガイドブックを作成し、定住者が地域を理解し地域の一員として良い関係を築くことを目指す。		

町政を問う! 一般質問一覧

森田 議員	1. 新電力を導入して経費削減を 2. 埋蔵文化財等の整理・保存や展示は	戎井 議員	1. 町長選挙と町議会議員選挙の同日実施の可能性について 2. 平群駅前広場の整備について
繁田 議員	1. ゴミの指定袋制について周知はできているのか 2. 町内のイベント（祭り、大会）のあり方について 3. 地域包括支援センターについて 4. 幼保一体化施設について	井戸 議員	1. 平群小学校、幼保一体施設の制服を「超オシャレ」にしてはどうか
山田 議員	1. 竜田川 遊歩道整備について 2. 企業誘致について	山口 議員	1. 地域経済活性化対策について 2. 平群駅前の利便性について
植田 議員	1. 高齢者世帯に対する有価物回収体制について 2. 生ごみ減量モニター制度について 3. 学校図書館の充実について	窪 議員	1. 新園「こども園」の通園バスの運行等について 2. コミバスの11月からダイヤ改正（案）に対する見直しを 3. 若い世帯の定住化対策に「持家取得補助制度」の創設を 4. 平群駅周辺整備事業の商業店舗の誘致について
高幣 議員	1. 次世代に向け高齢世帯の人口流出防止策を 2. 西小学校の跡地利用について 3. 平群西線の見直しに向けて現路線の再整備を	奥田 議員	1. 国道168号線平群バイパス沿いの活性化は 2. 平群駅前の駐輪場、駅舎、バス停の照明等
馬本 議員	1. 予約制乗合タクシー（デマンド）の導入を 2. 西小学校舎を若者定住促進集合住宅に改修を 3. 平群東・西小学校再編成に伴い学童保育所の新設を 4. 時刻放送に住民参加のふれあいメロディー演奏を		

質問

電気事業法が改正され、2005年から関係、東電等の一般電気事業者とは別に、特定規模電力者即ち、新電力が一般電気事業者が所有している電線路を通じて、契約電力50キロワット以上の高圧受電している需要家に電力を供給、販売する事が可能になった。

町は特別会計・企業会計を含め、年間の電気代を1億1426万円関電



に支払っている。その内、高圧受電している施設は、清掃センター、総合スポーツセンター等17箇所あり、年間の電気代は約9300万円関電に支払っているため、関電



森田 勝

新電力を導入して経費削減を

答弁

から新電力に切り替えて、経費削減を図るべきではないか。

新電力を導入している自治体によると、昼と夜や季節によって電気消費量が大きく増減する学校やグラウンド等の施設では、導入効果が見込める様である。

それと、一番危惧されることは、平時でも非常時でも安定的な電力供給が可能か、また災害時にも迅速な電力復旧が可能かである。

この様なことから、新電力を導入して、どの程度電気料金が下がるか等の研究をおこないたい。

ごみの指定袋制周知はできているのか



質問



繁田 智子

10月からごみの指定袋制が始まる。試行袋が配布されていたが、添付のチラシには分別の方法やごみの出し方の説明がない。奈良市が全戸配布している「ごみ事典」のような冊子が必要だが、作成するのか。

不法投棄などのトラブルが予想されるが、対策は考えているのか。

指定袋が定着するまで住民への丁寧な説明が必要

答弁

要だがどのように考えているのか。

これまでのごみの分別方法が一部変更になる。ごみの出し方、分別方法などを一覧表にした冊子を作成している。でき次第全戸配布したい。

有料化については、3月の総代・自治会長会議での説明、広報への連載、4回にわたる出前講座、ごみ減量フェスタなどを行ってPRを図ってきたし、8月には試行袋を各戸に配布している。

指定袋以外で出された場合はシールを貼って収集はしないが、トラブルがあればこちらから出向いて説明をしなければならぬと考えている。有料化はあくまでもごみ減量化のスタート。これから住民と行政の「協働」が始まるので、今後も住民の皆さんにお願いと説明をしていく。

竜田川 遊歩道整備について

質問



山田 仁樹

平成19年、竜田川を北より5つのゾーンに分しそれぞれにおもむき特色を持った整備をして行く方針のもと、『竜田川まほろば遊歩道』整備構想が策定され、ボランティアの方々による草刈り・清掃活動・植樹等、様々な取組が続いています。

①河川管理道の舗装、歩道整備等、町・県整備の



進捗状況は？

②設置されていない部分が多い街灯の整備増設を提案します。その事によって多くの方々が夕暮れ時もウォーキング等を楽しんで頂くことで、健

答弁

康的な町となり、医療費の抑制にもつながっていく期待も持てます。またその電源を利用し、桜の開花時にライトアップを行えば、町民の憩いの場所、シンボリックな環境となり、平群の美しさ、魅力を発信できるのでは？

①未舗装区間の舗装、現道拡幅、側溝蓋設置、護岸工事等の整備は完了済。案内板、説明版と誘導サインは、25年度完了予定。樺原橋北側右岸整備は様々な問題の中、実施に向け検討課題である。

②防犯灯の未設置区間や間隔は、地元自治会等とも協議の上、整備に向け取り組んで行きたい。

学校図書館の充実について



質問



植田 いずみ

北小の学校図書館が、「25年度子どもの読書活動優秀実践校」に選ばれたと聞き及んでいます。

学校図書館司書が常駐し、24年度と25年度の6月対比で貸出人数は倍以上、貸出冊数では3倍以上と大幅に増えています。

来年度以降、他の小学校にも計画的に司書配置

をおこなうことが必要です。優秀な人材確保のために、安定した雇用形態が大事だと考えています。

また、北小の学校図書館にはクーラーが設置されていません。落ち着いて調べ学習や、読書等行う環境整備が必要です。中学校と東小学校同様、北小学校・南小学校にもクーラーを設置すべきと考えます。

答弁

司書配置は、教育的に有効であり評価も非常に高い。他の学校への司書配置については、財政的な面はあるが、優先的に努力していきたい。

司書の安定的な雇用についても重要な課題と考えており、充実できるよう検討していきたい。

また、クーラー設置については、必要性もあることから計画的に予算を確保していきたい。

次世代に向け高齢世帯の

人口流出防止策を



高幣 幸生

質問

高齢者の定住化に目を向けた施策を提案する。

①番目は75歳以上の交通費助成を復活させる。

②番目は75歳以上の固定資産税超過税率分の免除、若しくは返還措置を考える。

③番目は空き家対策を考える。

空き家はジャングル化し、安全面や町の土地価格の低下につながる。何



答弁

①75歳以上の交通費助

成の復活は、現時点では考えていない。

②固定資産税超過税率分の免除、若しくは返還措置は出来ない。

税法上では不均一課税になる。本町は超過課税を実施しており、税の公平の原則から困難である。

③番目の空き家対策は、今調査中である。

外観や近隣の情報等を加味して空き家と特定する。調査終了後、所有者にアンケート等を実施して、空き家になった要因を分析する。

今後は、空き家の利活用等施策の立案を進め、子育て世帯の呼び込みやマイホーム借上制度の促進等を進める。

時刻放送に住民参加の メロディー演奏を



質問



馬本 隆夫

防災行政無線は、平成5年より運用開始され、災害時以外は、時刻放送・緊急情報・行政情報等、住民生活にとって有効に活用されております。

特に時刻放送は、平常時に機械が正常に作動しているかの確認と、青少年の健全育成を図る一環として、毎日3回、午前8時にはチャイム・正午は「野バラ」・午後5時には「夕焼け小焼け」のメロディーが流れていま

す。

これからは、住民と協働のまちづくりをより一層推進していくべきであり、午前8時のチャイムを「平群町歌」のメロディーに変更し、演奏を住民に、また、「野バラ」・「夕焼け小焼け」のメロディー演奏も住民にして頂き、住民参加のふれあいメロディー演奏を企画すべきであると思いますが、どの様にお考えですか。

答弁

住民が参画し、住民との協働のまちづくりを進めていくとの観点から、住民のパワーや技術を發揮していただく試みは非常に大切なことであると考えます。

現在のチャイムやメロディーを変更することは、保守管理者から可能との回答があり、まずは、試行的な実施について検討をして参りたい。

町長選挙と議員選挙の 同日実施の可能性は?

質問



戎井 政弘

今年7月に行われた参議院選挙の本町の投票率は、62・03%で、国、県に比較すると高率であり、町民としては誇りにしている数字ではあるが、それでも満足すべきものではない。

過去の町長選挙、議員選挙の投票率も殆ど似た数字であり、言い換えれば3人に1人は棄権していることになる。本町では3ヶ月に3度、投票所に出かける必要があ

り、この煩わしさが率を下げている要因のひとつでもある。町長、議員選挙を同日に実施すれば、投票率アップに資すると



思うが、可能性はどうか。

答弁

公職選挙法の規定により、当該ふたつの選挙の同日実施は可能である。その場合、次回選挙の投票日は3月中旬となる。なお、これを実施した場合、更に次々回、平成31年には3月の統一地方選挙とも同日実施が可能である。

但し実際問題としては、予算審議議会の3月議会の取り扱い、年度末での事務繁忙対応、ひと月半に及ぶ町長不在のために生じる諸対策等々、選挙管理委員会において、慎重に検討、判断する必要がある。

制服を「超オシャレ」に



質問

平群小学校、新幼保一体施設の保護者、子どものファッションへの関心は、時代とともに大きくなっている。

また、制服は特別で他への影響は絶大で、明確なイメージを与え、インパクトがある。

主な導入のメリットは
・平群小学校、幼保一体施設のイメージアップ



井戸 太郎

答弁

保護者、現場の意見を尊重しながら進めている。小学校再編成検討協議会で決定するが、その際にデザイン性も判断材料のひとつに加えるように求めている。

・児童、保護者の学校、施設への愛着心の向上
・登下校時の安全性の向上
・町内外からの希望者増により児童数の減少を防ぐ(幼保)
・平群町全体のイメージアップ
制服の持つ影響力、広告力、発信力を借りる。公立が故に意外性、話題性につながる。
コストの問題も工夫次第で現行の制服程度に下げられる。平群小学校、新幼保一体施設の子どもたちに楽しく通園通学してほしい。制服を新しくする機会は、今しかない。ぜひともお願いしたい。

地域活性化対策について

質問



山口 昌亮

地域経済活性化策として、バイパス沿いへの企業誘致をすすめているが、最も効果があるのは、町内の人材や農産物、自然、文化財などの内的財産＝資源を生かした事業の創設です。

このことは2年前にも提案しました。町は「町としても、その重要性は認識しており…、人材発掘に努めている」「6次産業化を視野に加工施設や直売所の検討、新たな



特産品の開発の検討を行い、戦略ビジョンの策定をめざしている」との答弁でした。

その後、この取り組みはどこまで進んでいるのでしょうか。

答弁

平成23年度に「地域産業活性化検討業務」等を実施し、本町の農業、産業の現状分析を行うなかで、6次産業化を目指した基本方針として「農業戦略ビジョン」を設定した。

現在、国の「特定地域再生事業」の採択をうけて、6次産業化計画検討業務に着手している。これは、6次産業化の事業主体の可能性や加工処理施設整備、その機能について検討を行い、6次産業化の推進計画を策定するもので、地域産業活性化に向けて取り組みたい。

平群駅周辺整備事業に 商業店舗の誘致を



平群駅周辺整備事業は、長年、地元地権者の皆様に、ご不便をかけながらご理解を頂き、平成29年度に完成予定です。

しかし、多くの住民からは、「平群駅前には『住宅開発』をするために、莫大な事業費を投入するのか?」「店舗が出来て街が活性化しないと、事業の意味がない」等、疑問や苦情の声が多数寄せられています。

質問



窪 和子

(1) 従来から地区内に住居を持たれている方が、区画整理事業により移転補償費をもらい、地区内に住居を建築されるので一定の住宅地にはなりますが、「平群の中心地」として相応しい街の活性化を図る為には、併行して早期に商業店舗の誘致活動が必要では。

(2) 地区内の土地利用を考えている地権者に、早期に意向調査が必要では。

(3) 駅周辺の店舗誘致に力を入れる為、人員や組織体制の強化を図るべきでは。

答弁

(1) 商業店舗の誘致活動は、平成24年6月より開始しており、今後とも積極的に取り組んでいきたい。(2) 地権者への意向調査を行う。(3) 本年6月に「にぎわいまちづくりの係」を新しく整備。人員や組織体制の強化も視野に入れ取り組みたい。

国道168号線

平群バイパス沿いの活性化



質問



奥田 幸男

平成23年5月の定期線引きによつて本線の沿道区域は大幅に市街化区域に編入され、上庄地区では工業ゾーンの指定もされ、今後商業施設の立地化が図られるのか。

答弁

誘導や企業誘致など、平群町として積極的に土地利用を促進して行くことによつて、当地区も賑やかになり、税収の増加や雇用の促進に繋がると考えるが、どれだけの活性化が図られるのか。

売却した旧保育園跡地は、周辺とバランスのとれた施設の立地誘導を所者に働きかける。

南都銀行南側は、大型スーパーマーケットが出店予定。

コーナンは、近々開発許可申請書を提出される予定であるが、オープン時期は未定。上庄地区の企業誘致は、バイパス西側の一部で企業側の条件が整えば用地取得される予定。バイパス東側は一社の企業に対し誘致活動を行っており、成功すると約600人の雇用と約150億円の経済波及効果が見込まれる。

国道やバイパスに予定されている商業施設やバイパス西側の企業が立地操業された場合、あわせて約4970万円の税収が見込まれ、町民が雇用された場合、個人住民税の増収にも繋がる。

町 の 話 題



国体と高校総体で優勝

山本大喜さん 竜田川団地在住

「7年後の東京オリンピックをめざしたい」とさわやかな笑顔で話す竜田川団地在住の榛生昇陽高校3年生、山本大喜（やまもと・まさき）さん。今年の高校総体（7月31日、大分県）と国民体育大会（少年の部、9月29日、東京都）の自転車個人ロードレースで優勝し、注目を集めています。

10月13日、第50回平群町民体育大会で社会体育奨励賞を受賞した山本さんに、今後の抱負などをお聞きました。（写真）

自転車を始めたのは「4年前の高校総体で優勝した兄（元喜さん）の影響」です。平群中学3年生の夏、クラブ活動（ハンドボール部）引退を機に、自宅から1時間半もかけて榛生昇陽高校自転車部の練習に参加するようになりました。

榛生昇陽高校へ進学後は、年末年始以外は、練習づけの毎日。平日は授業終了後に60km（2時間半）、休日は180km、学校の周辺を走ります。楽しみは「レースで結果が出たとき、きつい練習が終わったときの達成感」と即座に答えました。

「東京オリンピックもふくめ、世界で活躍出来る選手になりたい」。将来についてもきっぱりと話してくれました。

山口・記

お知らせ

議会報告会を開催します

* 11月16日（土）午後2時～4時
* 平群町中央公民館大ホール
ご参加お待ちしております

住民のみなさんに議会の活動状況をより分かりやすくお知らせするために、平群町議会は平成22年から年1回、この時期に議会報告会を開催しています。

以上の報告を担当議員が行ったあと、参加した住民のみなさんから、報告に対する質問や意見、議会に対する意見等をお聞きして質疑応答を行います。みなさんのご参加をお待ちしています。

報告会の内容は
①平成24年度決算報告について
②定住促進について
― 議会の行政視察から考える ―



編集後記

9月8日、7年後の2020年、オリンピック・パラリンピックが東京で開催される事が決まりました。

1964年の東京オリンピックから49年、約半世紀がたちました。

日本は、この間大きく発展を遂げてきました。

しかし、同時に日本伝統の大切な心や物が失われて来たような気がしませんか。

五輪招致活動では、『おもてなし』の言葉が使われ話題を呼びました。

未来永遠に日本の心、人間の尊厳や人を思いやる優しさ溢れる日本、平群町であり続ける事を願いたいものです。

何はともあれ、7年後の五輪。おらが町、平群からも夢の舞台に立つ選手が現れることを期待し、町をあげて応援出来る事を夢見ようではないでしょうか。



町田 記